

# ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

## 第4回定例会(令和2年6月定例会)

議会よりお詫び・所管事務調査	2	一般質問(4人)	6
第3回臨時会	3	議員インタビュー	10
第4回定例会	4	議員活動報告・編集後記	12

議会広報  
令和2年7月  
第36号

## 令和2年7月3日 柳町教育長 退任



## 澤田新教育長へバトンタッチ



新教育長の就任あいさつのようす

### 関連記事 5P

令和2年7月3日任期満了により、柳町靖彦教育長がご退任なされました。平成29年7月から1期3年にわたり、教育行政の長として重責を果たされましたことに、心から感謝申し上げます。今後とも五戸の教育を見守っていただきたいと存じます。

令和2年7月4日から新しく教育長にご就任された澤田尚教育長におかれましては、「教育のまち五戸」発展のため、ご活躍されることを期待しております。

(広報常任委員長 川崎 七洋)

## 五戸町議会より町民の皆様へお詫び

去る令和2年6月3日、五戸町議会議員より辞職願が提出され、同月5日に議員の辞職を許可いたしました。

五戸町民の皆様方には期待と信頼を裏切ることとなり、ご迷惑をおかけしたことに對しまして、五戸町議会を代表し深くお詫び申し上げます。

今後につきましては、議員一人ひとりが姿勢を正し、その職責と立場を再認識し、職務に努め信頼回復に向けて努力してまいります。

町民の皆様におかれましては、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

五戸町議会議長 三 浦 專治郎

# 民生常任委員会 所管事務調査

5月18日実施  
調査内容

○五戸総合病院の新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対応と対策について

五戸総合病院から、現在の新型コロナウイルス感染症対策についての状況や危機管理対応についての説明を受けた。

①相談者(住民等)への対応

保健所の指導に基づき、熱や咳の有無、それが何日続いているかなどの問診をした後、疑わしい可能性がある場合は、保健所へ連絡をし、今後の対応について相談することとしている。



②新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者が、保健所へ相談せずに来院した場合の対応

患者が自家用車で来院した場合は、自家用車内で医師及び看護師が防護服を着用し診察をする。

また、自家用車以外で来院した場合は、総合病院の救急搬送車内で同様に診察をする。

診察の結果、新型コロナウイルス感染症への感染の疑いがある場合には、保健所に連絡をする。



五戸総合病院側からの説明の様子

③総合病院での危機管理対応

3月上旬に、全国で感染者が増加したため、県外からの応援医師の派遣依頼を3月末まで休止した。

4月7日に、7都府県に「緊急事態宣言」が発令されたため、翌日8日に全職員及び病院での業務に従事している委託業者に対して、緊急事態発令の区域との往來を自粛するよう指導した。また、出勤前に検温と体調の確認をして記録するなど、健康状態の自己管理をす

るよう指示した。

●民生常任委員会(5人)

社会福祉、消防、上下水道、総合病院、国民健康保険、高齢者医療及び介護保険に関する事務を所管する。

委員長 鈴木 隆也  
副委員長 大久保 和夫  
委員 尾形 裕之  
委員 沢田 良一  
委員 三浦 專治郎



昨年度の調査実績

○倉石保育園建設状況、管理・運営方針について  
○公共下水道と合併浄化槽の整備について

# 第3回 令和2年5月 臨時会

5月1日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 13件			
原案可決	同意	承認	認定
1件	0件	12件	0件

## 町長提出案件

専決処分の承認 12件

条例の一部改正 3件

①五戸町町税条例等の一部を改正する条例

【内容】

・地方税法の一部改正に伴うもの

②五戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例

【内容】

・地方税法の一部改正に伴うもの

③五戸町介護保険条例の一部を改正する条例

【内容】

・介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令による介護保険法施行令の一部改正に伴うもの

補正予算 9件

①令和元年度一般会計補正予算(第8号)

・補正額(減額)

△3687万9千円  
・予算総額  
90億8137万3千円

【主な歳入増額】

・町税

2415万円

・地方交付税

6766万円

【主な歳入減額】

・国庫支出金

△3889万円

・繰入金

△5580万円

【主な歳出増額】

・病院事業会計負担金

2億2995万円

・除雪作業業務委託料

1684万円

【主な歳出減額】

・病院事業会計健診業務負担金

△2479万円

・中山間地域総合整備事業用地費

△1338万円

②令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)  
△264万9千円  
・予算総額

4億5041万9千円  
③令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

【補正額(減額)】

△7514万円

・予算総額

21億5839万6千円

④令和元年度介護保険特別会計補正予算(第5号)

【内容】

・翌年度に繰り越して使用する事ができる経費を定めるもの

・地域介護・福祉空間整備等施設整備事業

53万9千円

⑤令和元年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)  
△443万4千円

・予算総額

3億5262万6千円

⑥令和元年度農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)  
△468万1千円

・予算総額

1億1702万7千円

⑦令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

【補正額(減額)】

△457万8千円

・予算総額

9498万9千円

⑧令和元年度住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第2号)

【補正額(増額)】

39万7千円

・予算総額

1461万8千円

⑨令和元年度病院事業会計補正予算(第4号)

・補正額(増額)  
3606万円

・収益的収入

2億74万5千円増の26億609万2千円

・収益的支出

45万3千円増の27億4170万円

・資本的収入

441万円増の3億6403万7千円

⑩審議の結果

・補正額(減額)  
△468万1千円

・予算総額

1億1702万7千円

⑪令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

【補正額(増額)】

5383万7千円

・予算総額(補正後)

86億6496万8千円

【主な内容】

・五戸総合病院医師住宅改修工事費

1325万円

・子育て支援対策副食費

993万円

・プレミアム商品券発行事業補助金

3606万円



審議の結果  
全員賛成で可決

補正予算 1件

①一般会計補正予算(第1号)

【補正額(増額)】

5383万7千円

・予算総額(補正後)

86億6496万8千円

【主な内容】

・五戸総合病院医師住宅改修工事費

1325万円

・子育て支援対策副食費

993万円

・プレミアム商品券発行事業補助金

3606万円

# 第4回 令和2年6月 定例会

6月11日から16日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 32件			
原案可決	同意	承認	認定
9件	20件	2件	1件

## 町長提出案件

報告 5件

損害賠償額の決定 3件

○道路上の舗装劣化による車両物損事故の損害賠償に関する和解及び損害賠償の額の決定

① 損害賠償額

1万2600円

② 損害賠償額

6314円

③ 損害賠償額

9800円

・①から③のいずれも町道五戸志戸岸線で発生した事故によるもの

繰越明許費繰越計算書 2件

① 一般会計繰越明許費繰越計算書

・社会資本整備総合交付金事業

1億1450万円

・道路橋梁災害復旧事業

1039万3千円

② 介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書

・地域介護・福祉空間整備等施設整備事業

53万9千円

(報告は採決しません)

専決処分の承認 2件

条例の一部改正 1件

① 五戸町町税条例の一部を改正する条例

【内容】

・新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の規定整備などを目的とした地方税法の一部改正に伴うもの

補正予算 1件

① 一般会計補正予算(第2号)

・補正額(増額)

17億6442万3千円

・予算総額(補正後)

104億2939万1千円

【主な内容】

・特別定額給付金

16億9000万円

・子育て世代臨時特別給付金

1650万円

・新型コロナウイルス対策支援交付金

2250万円

審議の結果

全員賛成で承認

## 用語解説

※専決処分の承認

議会が議決しなければならぬ条例・予算などについて、時間的に議会の開催を待てない緊急の場合もあります。そのような時に町長が議会に代わって決断することを専決処分といいます。ただし、次の議会で承認を得ないといけません。(専決処分が無効になることはありません。)

決算認定 1件

① 令和元年度三戸郡福祉事務組合一般会計歳入歳出決算認定について

審議の結果

全員賛成で認定

町道の路線認定 1件

① 町道の路線認定について

【内容】

・地域住民の生活基盤として重要な路線であるため認定するもの  
○二階平下タ竹原線

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 3件

① 五戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例

例

【内容】

・新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金を支給するためのもの

② 五戸町国民健康保険税

条例の一部を改正する条例

【内容】

・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が一定程度減少した世帯等に対し国民健康保険税の減免を行うためのもの

③ 五戸町介護保険条例の一部を改正する条例

【内容】

・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が一定程度減少した被保険者等が介護保険料の減免申請書を提出する際の提出期限の特例について規定を整備するためのもの

審議の結果

全員賛成で可決

補正予算 2件

① 一般会計補正予算(第3号)

・補正額(増額)

2億3005万6千円

・予算総額(補正後)

106億5944万7千円

【主な内容】

・企業立地推進条例奨励交付金

1084万8千円

・乳幼児医療費給付費

1404万8千円

・GIGAスクール構想情報通信ネットワーク環境整備業務委託料

7633万1千円

② 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

100万円

・予算総額

21億9758万2千円

【主な内容】

・傷病手当金

100万円

審議の結果

全員賛成で可決

町長追加提出案件

人事 20件

教育委員会教育長の任命 1件

① 澤田 尚氏(61歳)

八戸市大字田面木字上野平



主な職歴

八戸市立白銀中学校教頭

新郷村立野沢中学校校長

三八教育事務所次長

八戸市立第一中学校校長

八戸市福祉公民館館長

任期

令和2年7月4日～

令和5年7月3日

審議の結果

全員賛成で同意

農業委員会委員の任命 19件

① 岩井壽美雄氏(69歳)

大字倉石中市字中市

② 大沢トモ子氏(65歳)

字正場沢

③ 北村 勉氏(72歳)

大字浅水字北向

④ 高橋 克氏(59歳)

大字豊間内字志戸岸

⑤ 鳥谷部甚一郎氏(73歳)

字石仏

⑥ 鈴木 徳治氏(73歳)

大字上市川字堰向

⑦ 中川原隆雄氏(69歳)

大字扇田字扇田

⑧ 佐々木一榮氏(72歳)

大字豊間内字熊戸

⑨ 高村 國昭氏(70歳)

大字倉石石沢字高岩

⑩ 中里 光明氏(57歳)

大字上市川字中坪

⑪ 柏田 雅俊氏(71歳)

大字倉石又重字館町

⑫ 竹原 誠氏(70歳)

大字倉石又重字前田

⑬ 豊川 敏雄氏(73歳)

大字切谷内字佐野

⑭ 佐々木喜克氏(34歳)

大字切谷内字粒ヶ谷地

⑮ 川崎 良巳氏(65歳)

大字切谷内字切谷内村

⑯ 稲村 健一氏(42歳)

字蛸川村

⑰ 時田 宏氏(78歳)

字下夕ノ沢頭

⑱ 三浦 弘文氏(39歳)

字川原町

⑲ 沼沢こえ子氏(67歳)

大字倉石又重字滝ノ上

任期

令和2年7月20日～

令和5年7月19日

審議の結果

全員賛成で同意

議会提出案件 2件

意見書 2件

① 看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について

【内容】

・看護師の賃金の底上げをはかり、安全・安心の医療・看護体制を確保するために、全国の看護師の最低賃金(「特定最低賃金」)の新設を要望するもの

② 介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について

【内容】

・介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するために、全国の介護従事者の最低賃金(「特定最低賃金」)の新設を要望するもの

審議の結果

全員賛成で可決

陳情 3件

① 最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める陳情書

・総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

継続審査

② 看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情

・民生常任委員会へ付託

③ 介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情

・民生常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

採択(願意妥当・意見書の伴う議会提出案件)

審議の結果

全員賛成で採択

6月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



かしわだ ただのり  
柏田 匡智 議員

# ◆五戸町消防団再編計画と今後の団員確保策は 町長 私の公約である消防団の処遇改善や 再編成検討に基づき協議を進める

### 質問①

現在、五戸町消防団の再編計画策定が進められているが、地域住民や団員の間では不安感が先行している。五戸町消防団再編計画の目的と概要は。

### 答 若宮町長

この計画は、私の公約である消防団の処遇改善や再編成検討に基づいているもので、現在団員数の減少が進んでいく中、地域の安全・安心のためにご尽力いただいている消防団員が、より活動しやすい環境を整備したいという思いから協議を進めているものである。



観閲式の様子

計画の概要としては、今後予想される人口減少による消防団員の減少に対応できる体制を早急に進めるべく、概ね10年後の令和11年度までの統合・再編広域化を目標とする。まずは消防団において、分団の統合・再編や消防車両の更新計画等の基本計画を令和2年度末までに示す。その後、地域の実情や地域の方々の理解を得ながら、「五戸町消防団再編計画」を令和3年度末までに策定し、消防体制の再編・充実と消防団員が活動しやすい環境づくりを進めていく。

どのような再編が五戸町の実情に適しているか、現在本部員と定期的に協議しており、ある程度再編の方針が定まった時点で、地域住民の方々に説明する場を設けたいと考えている。消防団員はもちろんのこと、地域住民の方々の意見も計画に反映させたい。

### 質問②

計画上の統廃合ありきで最初から進むのではなく、話し合いの中で対象の分団の変更や据え置きもありえるということご理解してよいか。

### 答 若宮町長

お見込みのとおりで、統合や再編ありきではない。人口減少で団員数が少なくなってきた中で、気持ちよく活動していただくための処遇改善を第一に考え、それに併せて再編成の計画も検討していきたいと考えている。



ラッパ隊の勇ましい姿

### 質問③

新規団員の確保策は。

### 答 若宮町長

これまでも町広報誌による団員募集や五戸ちゃんねるでの観閲式の放映、防災訓練での実技披露など活動PRをしてきた。

団員への福利厚生事業としては、消防車両の運転免許の取得費用助成や結婚及び出産への祝金贈呈、入院した際の入院見舞金の給付を実施している。

今後は、八戸市が先行して実施している、消防団員及びその家族が飲食物の進呈を受けられる「消防団応援の店」の町内での実施や、仕事などで団員と同様の活動ができない方が、無理のない範囲で特定の活動ができる「機能別団員制度」の導入など、魅力ある環境づくりにより、新規団員確保に努める。

### 質問④

平日の日に発生する火災に対して、出勤できる人員が限られてきている現状にある。出勤人員の確保策は。

### 答 若宮町長

各分団でOBの方々にもご協力をいただきながら災害現場で活動を実施している。OBの方々が、災害現場で万が一負傷した際の補償はしているが、今後消防団本部とも協議しながら、出勤時の手当の支給など、OBの方々の処遇についても改善できるように検討していく。

### 意見

会社勤め等の消防団員を雇用し、消防団活動に協力している事業所を顕彰する「消防団協力事業所制度」をPRすることで、平日の日中に出勤できる環境づくり、地域を守る若者づくりにつなげてほしい。

# 一般質問



鈴木 隆也 議員

## ◆新型コロナウイルス感染症が町財政に与える影響は 町長 歳入の減収分は財政調整基金や交付金等で対応

歳入の落ち込みによる  
財源不足は主に財政調整  
基金(※)を取り崩して  
充てる。

ナウイルス感染症対応地  
方創生臨時交付金(交付  
限度額約1億1400万  
円)及び青森県新型コロナ  
ウイルス感染症対応地  
域経済対策事業費補助金  
(1500万円)の合計  
1億2900万円が配分  
予定となっております、事業  
が決定すれば、財源補正  
し、財政調整基金へ積み  
戻しすることを検討して  
いる。

### 質問①

感染防止のための外出  
自粛は、事業収益や個人  
収入の減少に繋がり、税  
収の減少が危惧される。  
歳入の落ち込みをどの  
ように分析するか。

新型コロナウイルス感  
染症に関連する町独自の  
事業とその事業費は。ま  
た、それらの財源は。

### 質問②

町単独事業として実施  
している主なものは、  
・プレミアム商品券発行  
事業補助金  
3606万円  
・飲食店応援チケット発  
行事業補助金  
1341万円  
・乳幼児等医療給付事業  
拡大分  
1805万円  
など10事業、合計1億4  
287万円。  
財源は、ほとんどが財  
政調整基金を取り崩した。  
なお、国から新型コロ

### 質問③

今後の新型コロナウイルス  
ルス感染症に関連する町  
独自の事業予定は。

### 質問④

突発的な社会・教育環  
境の変化による子どもた  
ちの心のダメージに対す  
るケアは万全か。

自主財源では、町税は  
納付が困難な場合、最長  
1年間猶予されるため減  
収が予想される。負担金  
等は確実に減少する。  
依存財源では、地方交  
付税は大きく減収しない  
が、地方消費税交付金や  
地方揮発油譲与税が消費  
の低迷や移動の自粛によ  
り減収が見込まれる。

・農畜産物販路開拓支援  
事業

今後予定している事業  
の主なものは、  
・大規模飲食事業者補  
助金  
・アルバイト収入減収学  
生支援

など、スピード感をもつ  
て町の実情に即した支援  
策を実施できるような調査  
検討している。  
財源は、国の第2次補  
正予算で確保される、地  
方創生臨時交付金を充て  
る予定である。

### 用語解説

※財政調整基金  
年度によって町税な  
どの歳入は増減があり、  
このような財源の不  
均衡を調整するために、  
財源に余裕がある年度  
に積み立てておくもの  
で、地方公共団体の貯  
金のようなもの。  
本来、地方公共団体  
は、経済不況等による  
大幅な税収減によって  
収入が減少したり、災  
害の発生による多額の  
経費の支出が必要になっ  
たりなどの不測の事態  
に備え、財政調整基金  
を積み立てておく必要  
がある。

## ◆コロナ禍での町立小・中学校の 運営と子どもたちの心のケアは 教育長 子どもたちの安全確保と 教育の質の維持を両立していく

町立小・中学校での新  
型コロナウイルス感染予  
防対策は。

### 質問①

手洗いや咳エチケット、  
換気、各所の消毒、机の  
間隔をとることなどに加  
え、文部科学省が示した  
マニュアルを基に、各学  
校の実情に即した予防対  
策を実施している。

### 質問②

臨時休校による授業の  
遅れの対応策は。

### 質問③

修学旅行や体験学習の  
機会は確保されるのか。

### 質問④

安否確認等を通して、  
悩みや心配事を聞き、子  
どもたちに寄り添ったサ  
ポート体制をとっている。  
授業時数の確保に慌た  
だしい状況だが、子ども  
たちのストレスに向き合う  
時間を作るように、各学  
校に随時指示している。

各種行事を縮小または  
中止にし、通常授業を最  
優先にしたり、夏休みを  
1週間程度短縮したりす  
ること、授業の遅れの  
解消を図る。



なか がわら けんじ  
中川原 賢治 議員

◆凍結したまちの駅構想は白紙撤回か再開か

町長 凍結を継続し、引き続き未来を担う子どもたちのための空間づくりや交流できる場所を検討していく

質問①

三浦前町長が町中心街の活性化のために計画した、まちの駅構想を凍結したところであるが、今後白紙撤回するのか、それとも再開するのか。

答 荻宮町長

まちの駅構想については、令和元年12月定例会において、当分の間凍結すると答弁させていただいた。

しかしながら、木村秀政ホールを改修し、子どもたちが安心して遊べる空間づくりや、既存の噴水広場を改修し、五戸町の未来を担う子どもたちが集い、交流する場所が必要であるという考えは今も変わっていない。

質問②

一応まだ凍結とのことだが、それと並行して、今現在、機械が動かずあまり機能していない木村秀政ホールを、当時設置に携わった方々にも声を

かけて再生させるべきであると思うが、町長の考えは。

答 荻宮町長

当時携わった方々の意見を頂戴することは、大切なことだと思う。

◆五戸町が採択された「関係人口創出・拡大事業」モデル事業の詳細は

質問①

令和2年5月に総務省から発表された、令和2年度「関係人口創出・拡大事業」モデル事業の採択団体として五戸町が選定された。この事業内容は。

答 荻宮町長

地域や地域の人々と多様に関わる関係人口の創出を図るため、町の魅力を発掘し、それを町内外に発信していくプロジェクトを、行政・企業・コイデインターネット機関の3者が共創し、町全体として継

あの空間は、代官所も含めて活用の仕方が色々検討されていくものだと考える。役場職員で構成する全庁横断的なプロジェクトチームの中で、重要案件として進めたい。

継続的な関係構築に取り組み事業である。

質問②

この事業をどのように活性化につなげるのか。

答 荻宮町長

五戸町の抱える課題に人口減少がある。特に若年層の女性人口の流出が多くなっている。若い女性の目線で商品開発をするといったプロジェクトを創出し、若い女性が住みたくなる、働きたくなるような町づくりを計画中である。

◆五戸町商工会、五戸町観光協会及び色々なイベントを行っている各実行委員会との協働体制は

町長 補助金や人的応援を継続していく

質問①

五戸町観光協会と五戸町商工会の2団体は、特にお互いの団体を理解しながら、協力しあうべき団体だと思うが、今後の協働体制はどのようにするのか。

答 荻宮町長

町としては、これまでと同様に、団体への補助金の拠出や、イベント開催時の職員の応援体制を継続していく。

質問②

色々なイベントを開催している各実行委員会に対する役場の協働体制について、以前よりも弱くなったのではないかと感じる。もっと役場の職員も積極的にイベントに参加するべきでは。

答 大久保副町長

役場の職員も減ってきており、以前ほどの職員を派遣できないのが現状である。

したがって、町、観光協会及び民間が一体となって、継続してイベントを開催するための人づくりを行うことが重要であると考えている。



五戸町商工会・五戸町観光協会

# 一般質問

## ◆水田における農地の利活用最適化を

農業委員会会長  
農業委員及び農地利用適正化推進委員と  
連携して進めていく



とよた たかお  
豊田 孝夫 議員

### 質問①

水田の田植えも一段落した今、目についたのが圃場に樹木や葎が生えている水田の多さである。せつかくの農地が耕作されずに放棄状態となるのは資源の無駄遣いにつながる。

農地等の利用の最適化を進めるために農業委員会が設置されているが、農業委員と農地利用最適化推進委員の業務内容はどうのようになっていくか。また、実地調査、会議等の頻度は。

### 答 岩井農業委員会会長

農業委員は、月1回の実地調査と会議を行い、農地法における土地の売買や貸借の許可、転用などの許可決定を行う。農地利用最適化推進委員は、農業委員と連携して農地パトロールを年1回、研修会を年6回行っている。

### 質問②

当町の水田の保有面積と実際の耕作面積は。

### 答 岩井農業委員会会長

保有面積は2219ヘクタール、耕作面積は1740ヘクタールとなっている。

### 質問③

樹木等が生えて耕作不能と思われる面積は。また、そのうち復元可能と思われる面積は。

### 答 岩井農業委員会会長

耕作不能地と思われる面積については、自己保全管理等もあるので数字で表すのは難しいが、約2割程度と思われる。復元については、経費も発生することから、土地改良区などと連携する必要があると考える。

### 質問④

水田において、農道に直接繋がらない耕作不便な箇所はあるか。また、

その対策は。

### 答 若宮町長

圃場整備地区ではそのような箇所はない。中山間部においては、耕作不便な土地があると思われるが、町では把握していない。

そのような場所があれば、個別に相談に応じている。

### 質問⑤

農地中間管理機構を介して農地の貸借を行っているが、水田についてのこれまでの実績は。また、2019年度の実績は。

### 答 若宮町長

水田の貸借の実績は、累積で出し手が321件、受け手が65件で、約199ヘクタールとなっている。その内2019年度の実績は、出し手が27件、受け手が12件で、約26ヘクタールであった。

## ◆コロナ禍における地域防災

### 計画の見直しは

町長 国の法律に基づいて対策を講じている

### 質問①

当町の地域防災計画が平成30年3月に修正されているが、今回の新型コロナウイルス感染症のような疫病に対する記述が見当たらない。対応できるよう追加修正を行う考えはないか。

### 答 若宮町長

表示場所について特に定めは無いが、日本工業規格に基づいた標識を見やすい位置に設置している。

### 質問②

町では、国で定めた新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法に基づいて、対策本部の設置や庁内課長級による会議を開き、対策を協議し対応している。今後も予測不能な事態が発生した場合には、関係省庁からの指示のつとめて対策を講じていく。

### 質問③

避難所、避難場所の看板が設置されているが、

### 質問④

当町のハザードマップを作成中の模様だが、家庭に配布できる時期はいつになるのか。

### 答 若宮町長

令和2年12月末までに配布できるよう作業を進めている。



## 柏田 匡 智 議員

生年月日:昭和51年9月30日(43歳)

担当委員会:経済常任委員会

広報常任委員会

当選回数:2回

●議員インタビュー

町民の皆様は議会議員を身近に感じてもらうことを目的に、毎号一人ずつ議会議員のインタビューを掲載しております。

今回は昨年度の補欠選挙で初当選しました「柏田匡智」議員へのインタビューです。

インタビューア：広報常任委員長 川崎七洋

Q 本日はよろしくお願  
いします。

A 柏田匡智議員

よろしくお願ひします。

Q 柏田議員は倉石の柏  
田雅俊前議員の息子  
というのですが、  
お住まいは「一縮を  
の」でしょうか？

A 柏田匡智議員

はい、両親と私の家族  
で倉石の館町で同居して  
います。

Q お子さんが4人もい  
らっしゃるとお伺い  
しました。何歳くら  
いなのでしょう？

A 柏田匡智議員

子どもは4人とも男  
で、長男は就職してい  
て、順番に高校生、小  
学生、一番下は4歳に  
なりました。

Q 今の時代とても貢献

されていて素晴らしい  
と思います。これは  
お仕事頑張らなければ  
なりませんね。普段は  
農業で生計を立てられ  
ているんですか？

A 柏田匡智議員

そうですね。田んぼ  
は、父と地元集団組合  
の皆さんとやっています。  
畑は、個人所有の大型農  
業機械が無いので、農地  
の維持管理を考え、地元  
農家の方に農地を貸し  
て、その方と共に、にん  
にく、ながいも、山うど  
の農作業に携わってい  
ます。

Q 農業は昔からやられ  
ていたんですか？

A 柏田匡智議員

いえ、最初は農協の  
職員として働いていま  
した。約15年勤めさせ  
てもらったことで、五  
戸町全域の農家の皆さん  
と仲良くさせてもらい

# 議員インタビュー

ました。今はその時の経験があったおかげで、私も議員として頑張っていると思っております。これまで関わった皆さんに感謝しています。

**Q** 農業は五戸の主要産業ですから、そこに

詳しいのは頼もしいです。

お仕事は大変忙しいと思うのですが、地元の活動にも携わっているのですよね。

**A** 柏田匡智議員

地元の大字倉石又重には、新山神社というところがあって、館町神楽舞の保存会に所属しています。また、館町には子どもたちの「鶏舞(けいまい)」というものも伝わっていて、これを後世に残すための活動を続けています。

**Q** 地域文化の継承は

現代の大きな課題ですね。

**A** 柏田匡智議員

そうなんです。伝統芸能というのは、地域一軒一軒の理解と協力があったり継続できるものです。

他の神社では、踊り手の組織が残っていても、地域全体の協力が難しくなり絶えてしまったり、逆に地域全体の力により、復活した事例があると聞きます。我々も危機感を持って練習に励み、



祭り行列で踊る鶏舞(けいまい)

良い踊りを見せることで地元のご理解をいただき、継続できるように頑張っています。

**Q** 素晴らしい地元愛ですね。議員を目指したのもそういう思いからでしょうか？

素晴らしい地元愛ですね。議員を目指したのもそういう思いからでしょうか？

**A** 柏田匡智議員

それもあるのですが、4人の子育てを経験していることが大きいです。長男の子育て当時、0歳の子どもを預けられる所が当時の倉石地区に無く、思うように働けなかったことがあります。

保育園民営化による保護者会立ち上げに携わり、地元小学校の廃校、倉石小学校の統合を経験しました。今の世の中は、少子化・地域の過疎化が進んでいることで、従来の

仕組みと現実が合っていないと感じています。この大変さを、これから子どもを持つ若い人に経験して欲しくないと思い、政治を志しました。

**Q** 私も子どもを持って初めて気付いた問題が色々ありました。子育て世帯の政治参加は大事ですね。

特に柏田議員はお父様が議員であったこともあり、適役ではないかと思っています。政治についてはお父様から学んだのでしょうか？

あまり教わったという事はないですね(笑)むしろ同じ館町の先輩である古田議員や、地域の方々や町政についてのお話をする方が多かったので、そちらの方が勉強になったと思っています。

**A** 柏田匡智議員

あまり教わったという事はないですね(笑)むしろ同じ館町の先輩である古田議員や、地域の方々や町政についてのお話をする方が多かったので、そちらの方が勉強になったと思っています。



五戸川サーモン？

**Q** 古田議員と親交が深いのですね(笑)

**A** 柏田匡智議員

ええ(笑)実は釣りを趣味にしているのですが、以前五戸川でニジマスを釣った時に、それを手土産にして色々なことを教えていただいたりしていました。そういうこともあり、私は父とは違う面もあると考えています。子育てについても父の時代とは全く違いますので、その違いで

興味にしているのですが、以前五戸川でニジマス釣った時に、それを手土産にして色々なことを教えていただいたりしていました。そういうこともあり、私は父とは違う面もあると考えています。子育てについても父の時代とは全く違いますので、その違いで

苦しんだ経験がある、私だからできることがあると思っています。また、地域行事などに携わり、幅広い年齢層の方々や普段から協力し合い、そこを評価してもらい議員をやらせていただいていると思っています。

正直なところ、議員になって以来、生活は大変になりましたが、やりがいも大きいです。これまでお世話になった方々や、旧五戸・倉石地区の垣根無く、五戸町全域の皆さんのために頑張っていきたいと思っています。

ありがとうございます。今後のご活躍を期待しています。

(了)

県下町村議会議員研修

令和2年7月9日、青森市(リンクモア平安閣市民ホール)において、マスクの着用や隣席との間隔を  
 空けて着席するなどの新型コロナウイルス感染拡大防止対策がとられた上で、県下町村議会議員研修会  
 が開催され議員11名が参加した。

講演① 「今後の政局・政治展望」

講師 政治評論家 有馬 晴海 氏



講演② 青森県の目指す「青森県型地域共生社会」について

講師 青森県健康福祉部次長 嶋谷 嘉英 氏

\* 青森県型地域共生社会とは

青森県の保健・医療・福祉包括ケアシステムに「住  
 まい」「生活支援」を取り込むとともに、「交通」「情報  
 通信」「セキュリティ」の地域機能を加え、さらに「地  
 域づくり」の視点を踏まえた深化を図ることにより、  
 地域で生まれ、地域で育ち、地域を助け、地域で  
 安心して老後を迎えることができる社会のこと。



編集後記

暑中お見舞い申し上  
 げます。

コロナ禍でなけれ  
 ば、今頃は2020東  
 京オリンピック真っ只  
 中で、日本国中が選手  
 の活躍に沸き立ってい  
 ただろうと思えます。  
 開催まで1年間の延期  
 ということですが、何  
 とも残念でなりません。  
 各種のイベントが中  
 止、延期に追い込ま  
 れ、生活様式も変えざ  
 るを得なくなったこと  
 には、無力感さえ感じ  
 ます。早くワクチンが  
 開発されて普通の生活  
 が安心して出来るよう  
 になればと願います。

困った時の神頼みな  
 らぬ、妖怪頼みここは  
 アマビエにすがるか  
 ないか。皆さん打ち勝  
 ちましょう。

副委員長 豊田 孝夫

議会を傍聴してみませんか

9月定例会は9月9日開会予定です。

詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」  
 五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だより  
 は、令和2年10月  
 発行予定です。

発行責任者  
 議長 三浦 專治郎  
 委員 長 川崎 七洋  
 副委員長 豊田 孝夫  
 委員 和 田 智也  
 委員 柏 田 匡智  
 委員 鈴木 隆也  
 委員 大久保 和夫

広報常任委員会